

the Lion



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C

2016-2017
VOL.2



全国1300 浅間神社総本社「富士山本宮浅間大社」

地区ガバナーアピール

100周年記念事業関連紹介

事務局便り

特別天然記念物 平成の名水百選「湧玉池」

GOVERNOR APPEAL

地区ガバナーアピール



地区ガバナー公式訪問を終えて

地区ガバナー 坂 倉 三 吉

6月24日～28日にかけて福岡市で開催された第99回国際大会で、山田實紘国際会長からボブ・コーリュー新国際会長にバトンが繋がり、同時に私達国内同期の35人のガバナーが誕生しました。

ボブ・コーリュー新国際会長は「次なる山を目指して」をスローガンに、ライオンズクラブ100周年の記念となる今年を熱く語り、一年間の奉仕活動を声高々に宣言しました。

今回は国内開催という立地条件に恵まれ、滞在期間中、各種セミナー等プレッシャーを余り感ずることなくクリアできました。

7月にスタートし、各種セミナーが始まり、キャビネット会議等各会議も順調に進み、8月より当地区内14ゾーン・

80クラブへの公式訪問が始まり、9月末には全ての訪問を終えることができました。改めて当C地区(静岡県)は広いと実感しました。

各クラブ共、様々な文化・慣習があり、大変有意義な経験をさせて頂きました。訪問した先々で皆様より大変温かいもてなしを頂きましたこと、紙面をお借りして感謝申し上げます。

今期も早5ヶ月があっという間に過ぎ、いよいよ各目標に向かって邁進せねばと焦るばかりです。今期、私の掲げた方針、100周年レガシープロジェクト等を完遂させるべくメンバーの皆様と一緒にゴールを目指して頑張る所存です。

SPECIAL EDITION

薬物乱用防止キャンペーン2016

1 R・1 Z 浜松リバティLC



平成28年10月26日(水)午後5時半から7時まで、浜松市ギャラリーモール「ソラモ」において「薬物乱用防止キャンペーン2016」を開催しました。

我がクラブでは、以前より薬物乱用防止啓蒙活動として「浜松駅周辺でのリーフレット配布」や「市内専門学校における薬物乱用防止教室」を行っています。今回は、国際協会100周年の記念事業として内容を充実させて開催しました。

ソラモ内に静岡県警のキャラバンカーを置き、説明パネルや標本を展示、指導員による説明も行いました。その隣にはクイズコーナーを設置して、簡単なクイズに挑戦していただきました。また会場内の大型スクリーンに啓蒙DVDを流し、雰囲気づくりに努めました。

その周辺で、道行く市民にリーフレット・ポケットティッシュを配布しながら、キャラバンカーやクイズコーナーへの呼び込みを行いました。

今回は、大原学園、ミズモト学園の学生さん44名の参加協力を得られたため、普段の2倍、2000枚のリーフレット・ポケットティッシュを配布できました。

学生さんの中には、「自分、ティッシュ配りの才能あるかも」と言って100枚以上配ってくれた強者や、逆になかなか受け取ってもらえず「心が折れる」とこぼしている学生さんまで様々でしたが、みんな一生懸命取り組んでくれました。「家康くん」「ダメ・ゼッタイくん」の着ぐるみを着て人集めをしてくれた学生さんも、汗びっしょりになりながら「何時間でもできます」と笑顔で話してくれました。

薬物乱用防止教室で一方的に教えるだけではなく、学生とともにキャンペーン活動として一緒に取り組むことで、何か「心」の面でも伝わるものがあるかもしれないと思いました。

つながる、つなげる、命の輪 ～静岡産業大学での献血運動～

1 R ・ 2 Z 磐田 L C



若年層の献血離れが深刻化しているそうです。厚生労働省の調査では、20年前と比べて10～20代の献血者が半減しているとのこと。当クラブでも、献血への呼びかけを地元の大きなお祭りに合わせて、継続して行ってきておりますが、献血してくださる方の固定化及び、高齢化はクラブメンバーの実感としてあるものでした。「このままではいけない、もっと若年層への献血への理解を深め、裾野を広げていかなければ。」と強い危機感を持っていたところ、日本赤十字さんより「解散した磐田南ライオンズクラブさんからの引継ぎとして、静岡産業大学での献血運動を行って頂けないでしょうか？」との打診を受けました。

そこで、さっそく当クラブ内で検討した所、

1. LC100周年記念の年であること。
2. 当クラブの今年度の努力目標である「弱者に愛の手を」「青少年の健全育成」に合致すること。
3. 若年層への献血の理解を深める啓蒙活動として格好の機会ということ。

4. 現在、血液が不足して困っていることから、快諾させて頂いた次第です。

さて、当日はきれいに晴れ渡った秋晴れの下、70余名の方から申し込みを頂き、55名の方から献血をして頂きました。一時は受付待ちが10名を超え、献血車のキャパシティを超えるほどの大盛況となったのは当クラブとして嬉しい誤算です。また、当クラブメンバーの呼びかけで、恐る恐る初めて献血に挑戦してみたところ、「最初のイメージ程怖くなかった。また今度友達も誘って献血するね。だって、今度は自分が助けてもらう番かもしれないから。」と笑顔で別れた女子生徒さんもいて、大変心温まるアクティビティとなりました。

ささやかですが、こうした小さな喜びを積み重ねる活動を、今後も継続して行い地域の活性化に繋がっていければと願っております。

SPECIAL EDITION

細江野球スポーツ少年団への横援幕贈呈

1 R 3 Z 奥浜名湖 L C



奥浜名湖ライオンズクラブでは、今年創設30周年を迎える、地元の【細江野球スポーツ少年団】へ、応援幕を寄贈しました。

当クラブでは、青少年健全育成の一環として、20年ほど前に細江野球スポーツ少年団ボール寄贈などを行っていること、毎年学校単位で1年を通して優秀な成績を収めた生徒・団体（部活）へ「ライオンズクラブ賞」を贈る活動を行っていることから、細江野球スポーツ少年団が近年立派な成績を残していることを讃え、今後一層頑張ってもらいたいと、今回の応援幕寄贈を決定しました。

1986年（昭和61年）に創設された、細江野球スポーツ少年団のメンバーは、現在53名。細江町内の5つの小学校から集まった1年生～6年生で構成され、学校という壁を越え、地域の方・保護者の方に支えられながら活躍をしています。

【細江野球スポーツ少年団の成績(一部)】

2015年

- ・第1回しずぎんカップ準優勝
- ・第37回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東海大会優勝

2016年

- ・第23回はましん杯少年野球大会優勝
- ・第28回選抜少年野球学童部大東大会優勝

この応援幕を寄贈するにあたっては、少年団の皆さんの要望にできる限り応えたいと思い、デザイン案をこちらから提示した後、旗の色・フォントの種類や色、記載する文字など細かな希望を出していただき、作成をしました。

贈呈式当日は、クラブより3名が練習会場のグラウンドに伺い、代表の選手へ手渡しました。応援幕の仕上がりに大変喜んでいただけました。

これからの彼らの成長と活躍に期待をしたいと思います。

きくのん人形と標語塔

1 R ・ 4 Z 菊川 L C



菊川ライオンズクラブは、伝統的に、何かの記念日毎に、標語塔や警告看板を建立してきた経緯がある。例えば、交通事故や薬物乱用防止、あるいは、あいさつ運動を進めるものである。老朽化の進んでいるものもあり、管理には結構神経を使う。表面的にはきれいな顔をしているが基礎部はぼろぼろというものもある。昔は、建築上の確認等もそう厳格ではなかったようで、高さや、大きさもまちまちである。現在は、市民へ安全上の配慮もあって、しっかりルールに基づいて管理する必要がある。実は、今回建立したきくのん人形と標語塔は、かつて、30年前以上に建てられた看板の老朽化と標語の陳腐化のため、建て替えとして建立したものである。

さて「きくのん」人形は、菊川市が市制施行10周年を記念してつくったマスコットキャラクターである。もとは、ぬいぐるみで、中に人が入る仕掛けになっている。

妖精の国からやってきた。頭に湯呑、おなかに急須でお茶の菊川をPRする。茶以外にも、メロンやイチゴといった特産品と入れ替える。パンツにも特産品がいっぱいくっついていて、菊川市のPRに大いに貢献している。本物のきくのんぬいぐるみは、ゆるキャラ独特の不安定さ、ユーモラスな動きが、特に子供たちに人気がある。あちらこちらにお出かけもしているらしい。ゆるキャラグランプリにも毎年挑戦しており、何とか全国20位以内を目指している。

そんなきくのんを応援し、菊川市のPRにもなればと企画したのが、今回の事業である。2mの標語塔に、身長2メートルのきくのん人形(強化プラスチック製)を載せた。設置場所は、特に交通量が多く目立つ東名菊川の出口付近、県道脇である。標語は、あいさつ、薬物乱用防止、交通の3要素である。予想以上に大変な反響である。協力いただいた、地元自治会、菊川市、そして土木事務所の関係者に感謝申し上げたい。

SPECIAL EDITION

2R・1Z・2Z・4Z合同 屋外大型時計の贈呈（駿府城公園内）

2 R 1 Z ・ 2 Z ・ 4 Z 1 5 L C



今年度「地区LC100周年記念計画委員長」L松生宏文(静岡青葉LC)から、2R1Z・ZCを務める私に「国際協会創設100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」への協力依頼がありました。(以下100周年レガシー)100周年記念レガシーという大きな行事であり、1Zのメンバーだけでなく、同じ静岡市内の2Z・4ZのZCに100周年レガシー合同アクティビティとしてある程度盛大に催した方が良いのではないかと打診したところ、両ZCから気持ち良く賛同していただきました。これで静岡市内15ライオンズクラブ全員で一つの目的に向かうことができました。次はレガシー(遺産)を何にするのかを検討する段階になりました。ライオン誌5月号の特集記事で日本国中の100周年レガシーが紹介されています。そこには各地域にあった特色あるレガシーが記事になっていて、ライオンズクラブの地域に対しての奉仕が、より良い地域づくりに貢献していることを広くアピールしています。

私達3人のZCはそれを踏まえて本地域には何が適しているかを協議しました。静岡市内で一番人の集まる公園(駿府城公園)の入り口に屋外大型時計の設置案が浮かびました。駿府城公園敷地の面積は約18万㎡(約5万5千坪)の広さがありますが、現在屋外大型時計は1か所しか無く、新たに設置すれば多くの市民に対してライオンズの目的である「地域創り」に貢献しているPRになると思われます。早速、駿府城公園を管理する静岡市都市局都市計画部公園整備課と大型時計設置の協議に入りました。駿府城公園は1607年徳川家康が完成させた由緒ある場所で、埋蔵文化財保護法等いろいろな規制があり、基礎を掘削しての時計台設置について市当局は最初消極的で、最終的に時計の設置は不可能との返事を頂きました。

(次ページへ)



一旦は諦めて他の事業とも考えたのですが、100周年レガシーとして静岡市民が最も利用する公園である駿府城公園以外当初の目的を達成する場所が見当たらず、再度静岡市当局に再考をお願いしました。

駿府城はもともと今川義元の館でしたが、武田信玄に滅ぼされ、後に徳川家康が再築したという歴史があり、築造当初、外敵から守る為の堀は外堀、中堀、内堀の三重に配置されていました。明治時代になると大日本帝国陸軍歩兵第34連隊が天守台の石や土で、内堀を埋めて軍隊の施設を造成して現在の姿になった経緯があります。(その内堀の一部は現在掘り起こされて昔の姿を見せています。)

埋められた内堀の場所であれば、時計の基礎を掘削しても埋蔵文化財は無いという発想から市当局と協議の結果、昔の図面と現在の姿を併せた図面が提示されました。

二之丸橋(県庁裏)から入った通路左側の時計設置計画の位置が埋められた内堀位置とぴったり重なり、市の担当者と現地で確認の結果、屋外大型時計の設置が条件付きでOKになりました。その条件とは時計以外の部分は極力目立たなくし、ポール等の色はブラウン系を使用するとのことで当方も了承しました。

時計の設置が決まればこのプロジェクトの目的であるライオンズクラブの奉仕事業を地域に広く知らしめる行動を起こさなければなりません。時計の台には15クラブの名が記された銘板が貼付され、将来に残ります。

屋外大型時計は静岡市に寄付することも決まり、管理の心配が無くなりました。設置場所は駿府城公園のメインの入り口部分で人目に大変つきやすく、時計としての利用価値があります。

次に多くの人に出席していただく記念式典の開催です。記念式典は「時計塔寄贈式」と名付け静岡市長、静岡市議(時計台設置に尽力してくれた)静岡市役所関係部署の3名の幹部、又ライオンズクラブからは我ら1・2ゾーンを代表する3人の元ガバナーを来賓に向かえ、関係地区役員、並びに、関係各クラブ三役が出席して2016年10月28日に大型時計設置場所にて開催されました。マスコミにも連絡し、新聞等で報道して頂きました。

記念式典では松生LC100周年記念計画委員長、田辺静岡市長他からご挨拶を頂き、静岡市長からはライオンズクラブに対して感謝状の贈呈がありました。

坂倉地区ガバナーから15クラブ会長宛の祝電も披露されました。その後、来賓によるテープカットが催され無事式典は終了しました。

寄贈した大型屋外時計は、今後駿府城公園で開催される「静岡まつり」「大道芸ワールドカップin静岡」「しずおか市町対抗駅伝」その他多数の催し物等、又「憩いの場」として、訪れる多くの市民の皆様に末永く愛されるものと思います。これをもって我々の100周年記念レガシー事業を終了することになりました。関係者の皆様の多大なるご協力、大変ありがとうございました。

SPECIAL EDITION

わかふじへ、室内遊具を贈る

2 R 3 Z 6 L C



この度ゾーン事業にて、生活介護事業所障害者サービスセンター「わかふじ」に障害者の遊具を贈らせて頂く事が出来ました。

「わかふじ」は志太榛原地域の知的あるいは身体に重度の障害を持つ人が通う障害者支援法に基づいた生活介護事業所です。平成2年に重度障害者生活訓練ホームとして誕生しました。

そこまで至るには大変な苦労が7年程続きました。昭和59年から重度障害者の親子が毎月集り、音楽・紙芝居・季節行事などで身体の機能訓練等を親子で行ないました。

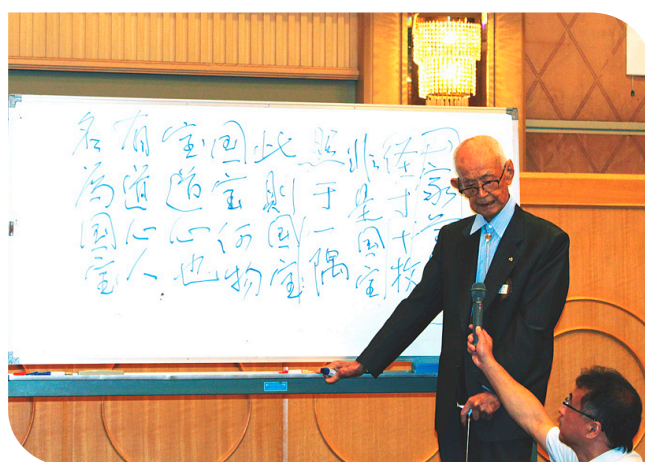
昭和62年には藤枝市高柳の第二すみれの家に小規模授産所が開設され、集合教育をしてきた寝たきりの子供達5人が親子で通所するようになりました。作業を行なう傍らで、子供に合せたプログラムにて生活し、月に3回生活訓練の奉仕活動が続けて、現在の「わかふじ」に発展されたとの事です。

当時の親御さん達は大変な努力をされた様です。現在は開所以前より親の負担も軽減され、皆さん明るく目的を持って通所されています。生活介護を目的に、週2回以上訓練を兼ねた作業をされています。この施設は子供から成人までの重度障害者が対象ですので、職員の方も大変だと思います。

ライオンズクラブは、今回室内遊具を通して障害者の方に喜ばれ、生活訓練の道具として一人でも多くの方に利用される事を望んでおります。「わかふじ祭」の為、ボランティア30名・施設利用者90名・親族の方100名・地域の方20名、総勢240名の中の贈呈でしたので、皆さん、ライオンズの力強い支援に感動されていました。通所されている方々を見ると、何か勇気・生きる力を頂ける様な気がします。“自分の力で明るく生きている”とのメッセージを今後のクラブ活動に生かし、地域に役立つ奉仕活動をして行きたいと思います。今回、あらためて「わかふじ」の皆様へ奉仕活動の原点を気づかせて頂きました。ありがとうございます。

食糧支援例会

3 R ・ 1 Z 沼津 L C



沼津ライオンズクラブの8月第2例会は、村林照夫会長の強い思いの下、国際協会100周年における食料支援のテーマに沿った食糧支援奉仕例会として8月18日に沼津リバーサイドホテルで開催されました。

この日の例会は食事を塩むすび2個に赤だしの汁、漬物といった簡素なものにし、浮いた例会食費(1人、1200円)と、会員からの寄付やドネーションを合わせ、ちょうど千ドルにし、LCIFに食料支援のための寄付を行ないました。

また、食事の後は真楽寺前住職で、この例会の数日後に97歳になられた、メンバーのL.勸山弘にメンバー・スピーチをしていただき、戦中・戦後の自身の食糧に苦労した体験を踏まえ、食料支援の大切さを語っていただきました。以下にその内容を簡単に記します。

世界の人口のうち1割にあたる7・8億人が飢餓に苦しんでいるという指摘から始まり、

その中で貴重な人材が失われているかもしれないと現実を憂いた。その昔、釈迦は言った「いかに善事善行をなすと雖も、人間の現状を憂うることなきは、まことの善にあらず」飢えた人を前にしてウィ・サーブを叫んでも空しい。一椀の食を与えることが先決だ。釈迦の言は2500年後の今日も生きている。また、中国で戦後の捕虜生活での飢えに苦しんだ悲惨な生活は、体験者でなければ語れないリアリティに、聴く者の胸に響くものがありました。そして今回のような取り組みが1クラブだけで終わらず7億8億人の飢餓に苦しむ人々を救えるような活動に拡大することを訴えました。

L.勸山の思いを受け、沼津ライオンズクラブとしてはゾーンやリジョン、地区を越えてこのような食糧支援の取り組みが全国のライオンズクラブに広がるように発信していきたいと考えています。

SPECIAL EDITION

地区統一アクティビティ「薬物乱用防止活動」

3 R ・ 2 Z 5 L C



富士中央ライオンズクラブは、「100周年記念地区統一アクティビティ」として、富士市内5LC(富士吉原LC・富士岳南LC・富士タカオカLC・富士中央LC・富士マウントLC)と合同で薬物乱用防止活動を行った。

各クラブの会員から集めた249,000円を、麻薬・覚せい剤撲滅活動費として富士市に寄付した。市役所で行われた贈呈式で、5LCを代表して久保田紀之ゾーンチェアパーソンが、「富士市は薬物事件で県内ワーストの検挙数が続く、若者への広がり食い止める為、啓発して行きたい。」と挨拶し、小長井義正市長へ手渡した。

小長井市長は、謝意を示した上で寄付金は、薬物乱用防止市民大会やキャンペーンで役立てると説明し、覚せい剤撲滅都市を宣言した。



その後、5LCの会員約200名が、富士川楽座・イオン富士南店・ジャンボエンチョー富士店の3カ所で、「NO薬物乱用」「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用ストップ」などと書かれたのぼり旗を掲げ、啓発パンフレット1000部とティッシュを配布する活動を行った。

静岡県内の全薬物事犯の7割が覚せい剤であり、その約6割が再犯者である。特に、年々増加する若年層の薬物使用が問題となっている。

薬物は1度でも使用すると自力でやめる事ができなくなり、体の様々な器官に障害が生じる。軽い気持ちで手を出すには、あまりに怖い現実がある。この事実を少しでも多くの人たちに伝える為に今後も活動を行って行きたいと思う。

泉頭城由来記 看板立替え

3 R ・ 3 Z 清水町 L C



柿田川公園－現在では国道1号線に面し富士山の恵みにより東洋一の湧水量を誇る公園として整備されています。遠方からの観光客も多く、特に夏は清らかな水・涼しい木陰を求めて親子連れ等で賑わっています。

この地に戦国時代、小田原北条氏により泉頭城(イズミガシラジョウ)と呼ばれる城郭が創されましたが豊臣秀吉の小田原征伐により破壊されてしまいました。

後に徳川家康は泉頭の城跡が大層気に入り老後の憩いの場所と定め家臣の本多正純に「隠居御殿」を造営するよう命じました。健康志向の家康は交通の要所であり、温暖な気候、澄み切った水等が気に入ったのかも知れません。

しかし翌年他界してしまい工事は中止となりました。

大正時代頃までは城跡の面影が随所に残っていたようで、今でも土塁の跡が所々見られます。

1985年、11月清水町LCCN15周年記念事業として柿田川公園に泉頭城の由来・歴史を見取り図と共に紹介する立て看板を寄贈しました。

今年は徳川家康没後400年にあたり清水町役場の柿田川公園整備に伴い当クラブも老朽化した看板のリニューアルを行いました。

これからも、ここを訪れる多くの観光客や地元の人たちにこの地の歴史や自然を学び親しんでいただきたいと思います。

SPECIAL EDITION

「水の日」講演会「富士川を知ろう!!」の開催

3 R・4 Z 芝川LC



近くに進出して来たIAIというロボット製造会社の社長さんの趣味が魚釣りのため、社会貢献という意味で、近くを流れる富士川のアユの生育状況の調査をされました。富士川はアユの生育においてあまりいい環境ではないという調査結果ということをお聞きしていました。また同じ頃に、富士川の舟運や暮らしとの関わり等の歴史を調べている人がいるということも知りました。

我々の近所を流れる日本三大急流の一つに数えられる富士川ですが、現在日常の生活と離れてしまっているためその存在意義に関心を向けることが少なくなっています。ここで改めて富士川に目を向け、我々の祖先はどうこの川と関わってきたのか、また今の自然環境がどうなのか知る必要があるではないかと考えました。そしてLC100周年記念事業として「富士川を知ろう!!」と題して講演会を企画しようということになりました。

テーマ1として「富士川の歴史と暮らし」。富士宮市立郷土資料館長さんをお願いしました。テーマ2として「富士川の環境～天然アユを指標として～」。IAIの担当者に調査の結果をお話頂きたいとお願いしましたら、芝川漁業組合を紹介され、組合長さんをお願いしたところ快く引き受けて頂けました。その調査報告書を見せて頂いたところ、アユの生育にとって環境が全くよろしくない川であるとの報告に驚きました。年平均濁度が高いこと、河川工作物が遡上を妨げる、カワウによる被害等が原因とされていて、大きな課題にぶち当たってしまったと思いました。そしてそれに対応すべくテーマ3として「つなげよう、支えよう森里川海」として、環境省自然環境局生物多様センター長さんをお願いし、これからどうしたらいいのか全国の川への取り組み事例を紹介して頂くようにしました。

告知もメンバー皆で一生懸命にやり、80名の会場は満席となり立ち見も出ました。新たな環境事業のスタートとなりました。

100周年記念事業 第9回ライオンズカップ争奪レオ・サッカー大会

4 R ・ 1 Z 6 L C



2016年10月2日『第9回ライオンズクラブゾーンカップ争奪レオ・サッカー大会』（熱海・伊東・下田・東伊豆・西伊豆・河津ライオンズクラブ6クラブ合同主催）が下田市の敷根公園総合グラウンドで行われました。

参加チームは、熱海・伊東・下田・賀茂地区に所属する10チーム、小学生4年生以下で構成されているチームで行われました。

各クラブメンバー、関係者も早朝より会場設営準備、運営等に携わりました。

今大会は、県登録されているチームとスポーツ少年団で県登録されていないチームが試合の出来る機会を与えようと、できた大会です。登録されていないチームにとって強いチームと対戦できる、とても良い機会です。

そのような大きな壁を無くした、とても貴重な大会であると思います。

参加される子供たちは、この大会に向け常日頃の練習成果を出そうと早朝より熱気が漂い緊張感が伝わってきました。

選手宣誓では、大人顔負けの力強い声でグラウンドに響き渡り観客席を沸かせました。ホイッスルと同時に2つのコートでは歓喜溢れる保護者の声援とボールを一生懸命追いかける子供たちの元気な姿がとても印象的でした。

優勝カップ、金メダルを手にしたチームは、オリンピックでの表彰台のような満面の笑顔でチームメイト同士喜びあい子供たちにとって最高の瞬間でした。

この事業は、ゾーン統一事業で、今回で9回、今後も歴史ある大会とし青少年育成に貢献出来るよう毎年継続開催したいと思っております。

参加者、関係者様からも多くの喜びの言葉も頂き、メンバー共々気持ちも温くなり来年の開催を約束しこのサッカー大会を無事終了と致しました。

SPECIAL EDITION

天城山自然環境保全・活性化事業

 4 R ・ 2 Z 1 0 L C



伊豆エリア(4R)16クラブでは、統一アクティビティーとして2011年より“今、天城があぶない”をテーマとした「天城環境保全啓発運動」を事業展開しています。

さて、2011年から取り組んでまいりました「天城環境保全啓発運動」の継続事業に加え地域活性化に向けての活動にも積極的に取り組み、ライオンズクラブのみならず多くの団体にも自然の素晴らしさや大切さを呼びかけ、伊豆地域全体で自然保全活動に取り組んでいければと考えています。

また、地域の方や各種団体とコラボレーションし、知恵を出し合う場としての勉強会や講演会を行い、次世代を担う若者との情報交換の場としての交流会を開催し地域活性化に努めていくことが大事かと思えます。“天城を仰いで”を合言葉に今後更なる積極的な活動が必至でありこの先にはライオンズの精神を理解して将来のメンバー増強にも繋がって来ようかと思えます。



過去の活動では、遊歩道内の老朽化した木橋を架け替え、誘導看板の設置などを行ってまいりましたが、物の設置でなくライオンズのメンバーに天城山の現状を知ってもらうよう、2014年には希望者を募り環境保全活動と設置した物の確認を兼ねながら天城山の万三郎へ登りました。次年度にはボーイスカウトや公募で参加していただいた方とライオンズクラブメンバー総勢64名で八丁池まで、天城山ガイドクラブの方の案内で登ってまいりました。天城山の自然の持つ魅力などの説明を受けながら登り、池の周りでは古くにあったスケート場時代のゴミなど拾い、軽トラック台分のゴミを拾いました。今年度からは各クラブより委員を選出していただき、継続した活動を行うよう天城山環境保全委員会を組織して次世代につながる活動を4Rの中で行って行きたいと考えています。

INFORMATION

事務局だより

2016～2017年度第2回キャビネット会議報告



2016～2017年度第2回キャビネット会議が11月22日(火)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

《協議事項》

1. 2015～2016年度キャビネット会計決算報告並びに監査報告
2. // 各種会議開催日程の変更について
3. 第63回地区年次大会議案提出締切日、同大会運営組織表・実行表・収支予算について
4. 次期地区ガバナー・第一副地区ガバナー及び第二副地区ガバナー届出要領及び次年度キャビネットの組織編成について

キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局がキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

2016年冬季YCE来日青少年について

今冬季、当地区への来日青少年はオーストラリア女子1名(沼津香陵LC・沼津千本LC)、マレーシア男子1名(富士宮中央LC)・女子2名(浜松南LC、蒲原LC)の4名となりました。冬季複合地区主催のユースキャンプは12月15日から20日まで、岐阜県高山市の国立乗鞍青少年交流の家を主会場に、後半は京都見学が実施されます。全員年末には帰国します。ホストクラブ・ホストファミリーの皆様には年末のご多忙の中、温かいご協力に心より感謝申し上げます。

12月～2月のキャビネットスケジュール

12/ 8(木)	ライオンズ育成グループ第2回研修会
12/13(火)	第2回青少年・薬物乱用防止・Lクエスト委員会
12/15(木)	第63回地区年次大会 第2回実行委員会
12/29(木)～1/4(水)	キャビネット事務局年末年始休暇
1/17(火)	第2回地区GMT・GLT会議
1/23(月)	上半期会計監査
	第3回LCIF・献眼・献腎・献血委員会
1/24(火)	第63回地区年次大会 第3回実行委員会
2/ 8(水)	第3回ガバナーチーム会議
2/14(火)	第3回青少年・薬物乱用防止・Lクエスト委員会
2/22(水)	第3回キャビネット会議
2/23(木)	第3回PR・L情報・IT委員会

2016年8月～10月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2016. 8.17	L 倉 林 久	富士吉原LC
2016. 8.25	L 後 藤 房 生	富士宮芙蓉LC
2016. 9.10	L 石 田 稔 焼	津LC
2016. 9.13	L 稲 葉 八 郎	伊 東LC
2016.10.11	L 岡 本 昇	浜 松 葵LC
2016.10.15	L 伊 藤 春 秀	天城湯ヶ島LC